

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立高部屋小学校

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	相手や目的に応じて、自分が伝えたい事柄について、事例を挙げながら筋道立てて話したり、登場人物の心情について、情景描写を基に捉えられる。話し合いの参加者として質問の意図をとらえることや計画的に話し合うために司会の役割を考える問題には良い傾向がみられる。	文の中の主語と述語の関係に注意して文を書く問題や相手や場面に応じて適切な敬語を使うこと。目的や意図に応じて内容の中心を明確にして詳しく書く力や話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べ考えをまとめること。
算数	異種の二つの量のうち、一方の量がそろっている時の混み具合の比べ方を理解している。また、三角形の内角の和が180度であることを理解して角の大きさを求められる。折り紙の輪の色の規則性を解釈し、それを基に条件に合う色を判断する問題や示された情報を解釈し、条件に合う時間を求められる。	折れ線グラフの特徴を読み取り、示された事柄がいずれにもあてはまるグラフを選択する問題や直径が2倍になると円周の長さは何倍に変化するかなど、円周の長さや直径の長さの関係について考えること。メモの情報とグラフを関連づけて、総数や変化に着目していることを解釈すること。また、図形の構成要素に着目して、1点に集まった角の和が360度であることを基に考えること。
理科	安全に留意し、生物を愛護する態度を持って、野鳥の雛を観察する方法を考えたり、海水と水道水を区別するために二つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断したりする問題に良い傾向がみられる。	1度に流す水の量と棒の様子との関係を基に、より妥当な考えを導き出すために実験結果を基に分析し考察すること。
質問紙	自分に良いところがあるかという問いは毎年良好であり、改善傾向にある中で、今回は最も良い結果であった。また、決まりを守る意識は大変高く、経年で見てもその傾向が強い。	家庭での学習では1時間未満が非常に多く、宿題をしてこない子が増える傾向である。毎日、朝食をたべることがない子がここ数年で最も多い。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

【国語】文の中における主語、述語との関係を踏まえた正しい文を書くことや漢字、敬語など伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項領域について、一層、確実な定着を目指していく必要がある。また、効果的な構成、目的や意図、伝える対象を意識して書く力を育成するために、授業の活動のねらいを明確に伝えるように取り組んでいく。

【算数】式や図、表と言葉の三つを効果的に組み合わせ、考えたことをわかりやすく伝える学習を継続していく。その一方で、確実な定着を図るために、繰り返し学習など効果的に取り入れていく必要がある。また、図形領域の課題が見受けられるので、算数的な活動を通じて、空間認識能力を高める指導を充実する。

【理科】実験結果について導き出せる考え方や考察、実験結果を基に分析、考察し、内容をまとめるといった活動やそれを発表したり、わかりやすく伝えたりする学び方を今後も充実していく必要がある。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

質問紙調査では、朝食を食べない子どもがやや増えましたが、生活習慣をはじめとして、家庭や地域で子どもを見守り、健やかな成長を支えていただいている様子が見て取れました。

人の役に立つ人になりたいという意識は毎年高い特徴があります。その一方で、地域のボランティア活動への参加が、ここ数年減少傾向にあります。地域や社会への関心、新聞を読み社会の情報を収集するといった社会との関わり方がやや弱まっているのかもしれませんが、地域の行事に関わったり、社会で起きていることを話題にしたりして、子どもの興味関心を刺激することも重要かと思えます。

家庭学習においては、宿題を一つの目安として、お子さんに合った内容や量を家庭で行うこと、その習慣作りが大切だと考えています。これはご家庭の協力がなければできません。国や県と比較して、家庭学習が1時間未満が多く、逆に3時間以上が大変少ないなど、その傾向は依然続いています。家庭と協力して、家庭学習の習慣作りを進めていきたいと考え、ご協力いただきたいと思います。